

〔11月号目次〕

【第二浜田ダム 試験湛水状況】	河川課
【平成 27 年度 第 3 回河川整備計画検討委員会を開催 ～静間川水系河川整備基本方針（原案）を審議～】	河川課
【第 1 回斐伊川水系中流支川域川づくり検討委員会を開催 ～本流域の河川整備計画（素案）を審議～】	河川課
【松江堀川の生き物調査の参加者の感想 松江堀川水環境協議会活動報告（その 3）】	河川課

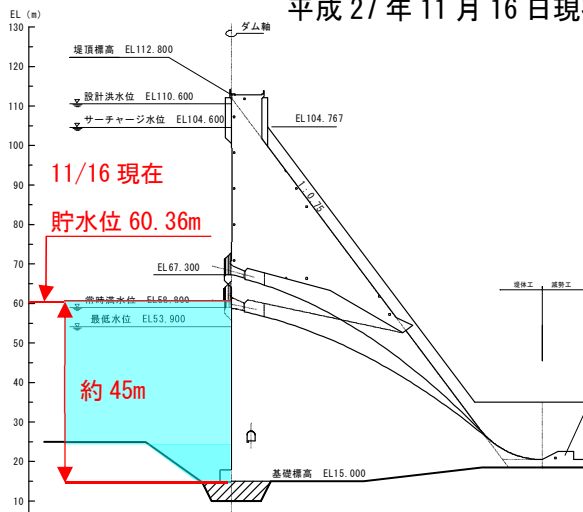
第二浜田ダム 試験湛水状況

河川課河川開発室

浜田市（浜田川）で建設中の第二浜田ダムは、平成27年10月6日に試験湛水を開始し、
11月16日現在で、約45m^{*1}湛水しています。（※1：約45mは、基礎岩盤からの水深を示す。）



平成 27 年 11 月 16 日現在 貯水位 60.36m（常時満水位 58.80m+1.56m）



○ダムの諸元

本体ダム	堤高：97.8m	堤長：218.0m	鞍部ダム	堤高：27.8m	堤長：202.5m
	堤体積：324,000m ³			堤体積：34,000m ³	
総貯水容量：15,470,000m ³					

○試験湛水とは？

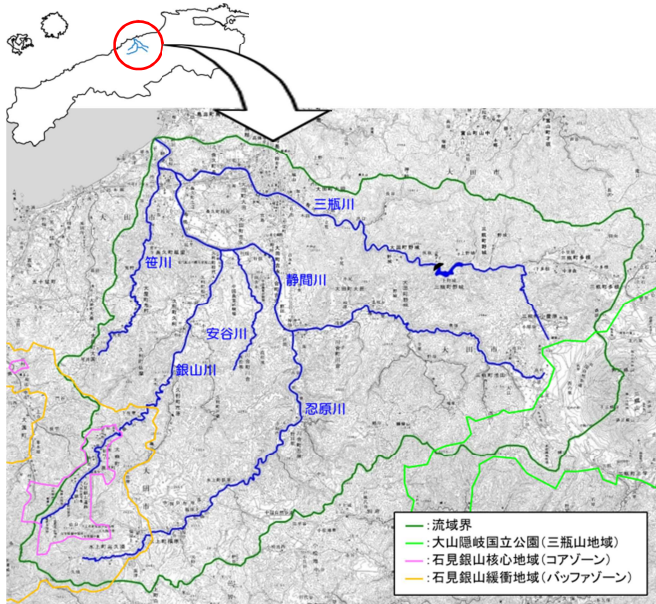
第二浜田ダムの堤体、基礎岩盤及び貯水池周辺地山の安全性を確認するとともに、取水放流設備・管理設備等の機能確認及び管理のための資料収集を目的として行うもので、サーチャージ水位^{*2}（EL104.6m）まで水を貯め、その後 EL54.0m まで貯水位を下げっていきます。

（※2：サーチャージ水位は、洪水時に一時的に貯水池に貯めることが出来る最高の水位）

H27年度 第3回河川整備計画検討委員会を開催

～静間川水系河川整備基本方針（原案）の内容に係る審議を実施～

河川課企画調査グループ



上写真：委員会の様子

左 図：静間川水系 流域図

1. 第3回委員会開催状況

今回の委員会（平成27年11月13日）では、前回委員会での意見及び県庁関係各課の意見を踏まえて作成した静間川基本方針の原案の内容（以下の議事）について審議していただきました。

委員会では、原案本文の記述に関する意見の他、今後の本流域の整備の在り方や情報提供についてなどの意見をいただきました。

◎委員会の議事

静間川河川整備基本方針（原案）

- ・ 環境シート
…環境調査（冬季～秋季）報告、環境調査結果を踏まえた環境面での配慮事項等について
- ・ 基本方針本文、流域概要
…素案からの変更箇所について
- ・ 今後のスケジュール
…策定に向けた今後の流れについて

2. 今後の予定

委員会でもいただいた意見を踏まえて基本方針（案）を作成し、平成27年度中に国の同意、策定に向け、年内の申請を目指します。

☆静間川基本方針に係る過去の委員会は、本だよりの平成27年3月号、6月号、9月号でも記事にしています。

★委員会の資料、議事要旨等は島根県河川課ホームページの以下のアドレスに掲載しています。

※静間川基本方針に係る前回委員会の内容もこのアドレスで見ることができます。

http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/hoshin/seibikeikaku_kentouiinkai.html

第1回斐伊川水系中流支川域川づくり検討委員会を開催

河川課企画調査グループ

1. 斐伊川水系中流支川域河川整備計画の位置付け

斐伊川水系中流支川域は出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町にまたがる約 610km²の流域で、斐伊川本川の県管理区間及び赤川、三刀屋川などの支川を合わせ 62 河川があります。

(右図：斐伊川水系中流支川域 流域図)

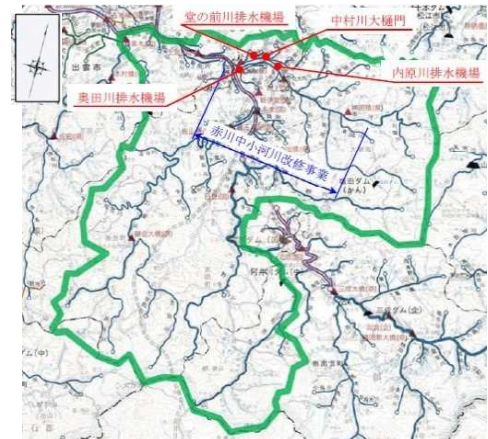
本整備計画は、水系全体の基本的な方針である「斐伊川水系河川整備基本方針（国策定）」に基づき新規策定するものです。



2. 河川整備計画（素案）の内容

今回策定する河川整備計画では、長寿命化計画に基づき、圏域内にある 65 箇所の樋門・排水機場のうち、施設規模が大きい以下の 4 施設を工事対象とし、延命化を行います。

それ以外の施設についても、長寿命化計画に基づき、修繕工事を行い、施設の延命化を図っていきます。



上図：斐伊川水系中流支川域の流域図

河川名	施設名	施行の場所	河川工事の主な内容
中村川	中村川大樋門	雲南市加茂町延野	扉体：再塗装又は取替 開閉装置：分解整備又は取替 操作盤：機器整備又は取替
奥田川	奥田川排水機場	雲南市加茂町神原	ポンプ：分解整備又は取替 原動機：分解整備又は取替 電源設備：分解整備又は取替 除塵設備：分解整備又は取替
堂の前川	堂の前川排水機場	雲南市加茂町大竹	
内原川	内原川排水機場	雲南市加茂町加茂中	

整備期間は概ね 20 年間としますが、今後、改修等で整備箇所の追加が必要になった場合は、整備計画の変更を随時実施していきます。

3. 第1回委員会開催状況

今回の委員会では、流域の状況等について現地視察を実施するとともに、整備計画（素案）及び住民への意見聴取（アンケート）の内容・方法について審議していただきました。

委員会では、整備計画に挙げる事業の位置付けや、より分かりやすいアンケートとするために見直すべき点など、様々なご意見をいただきました。



委員会の様子



現地視察（奥田川排水機場）の様子

4. 今後のスケジュール

委員会でもいただいた意見及び今後実施するアンケート結果を踏まえて整備計画（原案）を作成し、次回の委員会は平成 28 年 2 月頃の開催を予定しています。

☆斐伊川水系中流支川域河川整備計画についての

委員会の資料、議事要旨等は島根県河川課ホームページの以下のアドレスに掲載しています

http://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/hiikawachuryusisen_kawadukuri/

松江堀川の生き物調査の参加者の感想

～松江堀川水環境協議会活動報告（その3）事務局：島根県土木部河川課企画調査グループ～

平成27年8月19日に実施した「松江堀川生き物調査」に参加された内中原小学校の児童より松江堀川について、以下のような感想がありました。（6班のうち1、2班の主な感想）

良いところ

- ・カメや魚など生き物がたくさんいて良かった。
- ・メダカが外来種ではなかった。
- ・昔よりも堀川がきれいになっていた。
- ・カメのオスメスの見分け方が分かった。
- ・川の水が透明だった



（学習会の様子）

悪いところ

- ・外来種がたくさんいた。
- ・川が汚いところがあった。
- ・堀川の端っこのところが少し汚かった。
- ・ゴミが捨ててあった。
- ・水草が多い。

その他 気がついたところ

- ・シジミが堀川にいてびっくりした。
- ・シジミが大きかった。
- ・カメのこうらが固かった。
- ・カメのおなかか意外とやわらかかった。
- ・ミシシippアカミミガメが大きかった。
- ・サギの数が少なかった。

【次回予告】 第1回地震津波防災検討委員会を開催

平成27年11月13日、第1回地震津波防災検討委員会を開催しました。

津波（L2、L1）の検討、国交省協議等は、河川課（企画調査グループ）で担当しています。

（事務局：島根県防災部防災危機管理課、関係課：土木部河川課・港湾空港課、

農林水産部農地整備課・漁港漁場整備課）

詳しくは次号に掲載します。

【編集後記】河川課 企画調査グループ 藤岡八寸志

今号の記事は、H27年度第3回河川整備計画検討委員会において、静間川の長期的な視点に立った河川整備の基本となる静間川水系基本方針（原案）が審議されました。近年の河川整備では、治水、利水、維持管理と合わせて、特に環境に配慮することが重要であると感じました。

さて、島根県河川課では、今後も河川・海岸に関する話題を提供したいと思います。バックナンバーは河川課ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

編集者 島根県土木部河川課企画調査グループ

TEL : 0852-22-5647 FAX : 0852-22-5681

mail : kasen@pref.shimane.lg.jp

河川課 しまねの河川と海岸だより HP : <http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/index.html>